



～季節の花便り～

まるで“ススキのお化け”！！  
**パンパスグラス**の花穂が開花しました！



平成 20 年 9 月 2 日撮影

謹啓 初秋の候 皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、国営ひたち海浜公園では、秋の訪れを告げる「パンパスグラス」が、太陽の日差しを浴びて光り輝く花穂を付け始めましたのでご案内いたします。

注目すべきはその高さ。大人の背を優に超えてなんと約 **4 m** もありまるで**“ススキのお化け”**のような大迫力です。はるか頭上で、花穂が涼やかな風にそよぎながら銀白色に輝いている様は神々しく、皆様にもぜひご覧いただきたい本公園の“秋の顔”の1つです。

パンパスグラスはBMXコース付近の「サイクリングコース第3サークル」と「大草原北東側」に植えられており、歩きながらその迫力をお楽しみいただけるのはもちろんのこと、サイクリングをしながら間近で見上げるのもおすすめです。約8haの草原に点在するパンパスグラスと晴れ渡った秋空とが創り出す雄大な景観をお楽しみください。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願い申し上げます。

謹白

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4  
ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下  
電話(029)265-9005 FAX(029)265-9339  
お客様問い合わせ電話番号(029)265-9001  
ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/kaihin>

開花：8月下旬～10月下旬  
見頃：9月上旬～10月上旬

# パンパスグラス

イネ科コルタデリア属の多年草  
原産地：南米（ブラジル・アルゼンチン）

## 【パンパスグラス豆知識】

茂みを作る常緑のイネ科植物。晩夏に銀白色の羽毛状の円錐花序（花穂）を付けます。

花穂の見頃は9月上旬頃から10月上旬頃まで。高さは1mから4mに達し、大きなものは6mにも及びます。丈夫で栽培しやすく、一度植えたらほとんど枯れることなくよく育ち、花穂は切花としても好んで用いられるため、日本各地で栽培されています。

名前の由来は、英名で南米の大草原（パンパス）に生えている草（グラス）という意味です。乾燥に耐えて大きく成長する植物で、広々とした草原に群生します。



平成20年8月31日撮影

## 【ひたち海浜公園のパンパスグラス】

本公園では、開園当初より、サイクリングコース内サークルの芝生地のほか、大草原に点在するように植栽しています。

### サイクリングコース第3サークル

秋風に乗ってサイクリングを楽しみながら、パンパスグラスの迫力を間近でご覧いただけます。

面積：580㎡（サークル面積）

株数：10箇所40株



### 大草原北東側

8haの大草原に生えるパンパスグラスはサイクリングコース第3サークルより約2週間程度遅れて花穂を付けます。中には花穂が桃色の「桃色パンパス」という種類もあります。

株数：49箇所196株



## トピックス

### 「パンパスグラスのおすすめワンポイント！」

パンパスグラスは、花言葉の“光輝”のとおり、昼間、花穂が太陽に照らされて光り輝く姿がとて美しく魅力的です。また、沈み行く太陽が逆光となる夕刻の時間帯も幻想的です。

皆様も、巨大なパンパスグラスとの背比べを写真におさめたり、時間帯によってさまざまに表情を変えるパンパスグラスを写真で切り取ってみてはいかがでしょうか。

